「ＰＲＩＭＥ 観光都市・東京
東京都観光産業振興実行プラン～東京2020大会に向けた重点的な取組～」
の策定にあたって

2019年はいよいよラグビーワールドカップ2019™が東京で開催されます。また、東京2020オリンピック・パラリンピック競技大会の開催が来年と迫ってまいりました。この世界的な両大会を契機として海外から多くの注目が集まる今こそ、東京の観光を飛躍させる絶好の機会です。それが、観光による経済波及効果を生み出し、東京ひいては日本にとって大きな成長をもたらすものと思います。

近年、東京は世界有数の観光都市として注目を集め、評価を高めてきました。アメリカの富裕層向け旅行雑誌「Condé Nast Traveler」が行った読者投票では、世界で最も魅力的な都市として、東京が３年連続で１位に選ばれました。多様な魅力を持つ東京の国際的な評価が高まっていると改めて感じていますが、欧米、アジアなどの他都市も猛追しており全く楽観視できません。日本の首都、成長の牽引役でもある東京は、この競争に勝ち残り、持続的な成長を果たしていく必要があります。少子高齢化が進む中、観光の分野は、ますます重要な役割を担うものと考えています。

このため、昨年度に引き続き各界の有識者の方々と精力的な議論を積み重ね、この度、今後の観光振興に取り組むための道筋を示す「ＰＲＩＭＥ 観光都市・東京　東京都観光産業振興実行プラン～東京2020大会に向けた重点的な取組～」を策定いたしました。

本プランでは、東京2020大会に向けて観光施策を強力に推進するため、様々な国・地域の外国人旅行者や高齢者、障害者など誰もが安心して観光ができる環境の整備や、夜間の時間帯を活かした観光資源の開発などの取組を加速させてまいります。

そして、より多くの旅行者を迎え入れる環境を確実に整え、皆様と力を合わせて大会を成功に導くとともに、その成果を大会後のレガシーとして活用することにより、観光産業を飛躍させることで「ＰＲＩＭＥ 観光都市・東京」の実現に取り組んでまいります。

平成31（2019）年２月

東京都知事　小池百合子